

福島 活動報告

全学連福島現地行動隊

fzengakuren@yahoo.co.jp

http://www.zengakuren.jp/



福島の地より、

原発いらない! 3・11福島県民大集会

への大結集を
よびかけます

全学連福島現地行動隊は、原発の再稼働をとめ、すべての原発を廃止するために、その攻防の最先端である福島現地で日々活動しています。そんな私たちから、3月11日に郡山市・開成山野球場で行われる「原発いらない! 3・11福島県民大集会」に、県内はもとより全国から大結集されることを熱烈に訴えます。政府と東電、そして大学に、一切の責任を取らせましょう。

3月11日、地震と大津波によって多くの方が犠牲になりました。生き延びても原発事故、甚大な放射能汚染によって生活が奪われています。避難するかどうかで地域や家族、友人関係は分断され、食べるものにも以前には必要のなかった心配をしなくてはならず、農民の方は丹精込めて作った作物などを食べてもらえず、将来の健康に不安を抱える、そんな日々です。

そんな状況にたいし、野田政権は一人8万円、子どもと妊婦には40万円を一度きり払い、全てを終わらそうとしています。そして

「経済のために」と原発再稼働と輸出を表明。大学は原発に反対する学生を排除すると同時に、日本原子力研究開発機構と連携協定を結びながら原発政策推進の一翼を担っています。

あの日から悲しみ、悔しさ、そして怒りがやむことは1日たりともありません。3・11はそういった思い全てを出す日です。失った仲間思いをはせると同時に、一切の責任から逃れようとする新自由主義に復讐する日です。

現在稼働中の原発はたったの3基。全国の怒りによって再稼働を止めてきました。フクシマと全国の怒りを一つにし、このまますべてを止めて、すべてを廃炉に! とともに福島現地の集会とデモに立つことを訴えます。

震災から1年の3月11日
「原発いらない県民大集会」 郡山
東日本大震災と東京で原子力発電を行わすを、県平和フォーラムなど実行委員から一年となる月十一の研究・開発拠点と一日、郡山市の開成山球場で「原発いらない」をテーマに午後一時から、加藤登紀子さんによるコンサートが行われる。県内、長が呼び掛け人代表産業や商工業の代表

福島は怒っています！

～2/5 スタンディングデモ報告～



2月5日、3.
11へ向け福島駅
前でスタンディ
ングデモを行いま
した。このスタン
ディングデモは一人
の女性が原発事故後、
自分ひとりでも原

発をなくすまで駅前に立つという意志で行動を開始したことが周囲に広まり、始まったものです。毎週日曜日に行っています。ここに全学連福島現地行動隊も合流しました。この日は子ども福島の椎名千恵子さん、女川原発反対運動の方、放射能からいのちを守る全国サミット実行委員会の人々らで10人以上が集まってにぎやかな街宣となりました。参加したお母さんたちは「子どもの放射能の影響は深刻です」と赤ちゃんの写真つきのプラカードを持って、真剣に訴えていました。

1時間の街宣でビラは300枚まけ、署名は100筆近く集まり、診療所建設へのカンパは7000円集まりました。

福島の人々の生活を奪ったままでどこが事故収束なのか。政府と電力会社による原発再稼働は、事故で生活を奪われ、無念、悔しさを感じている人々を切り捨てながら行われようとしています。こんなことを絶対に許さず、政府と東

電に全責任を取らせなければなりません。

キャンパスを除染してほしいと大学に頼んだが、大学当局は「検討します」と言うだけで何もしないと怒りを語る母さんと出会いました。政府のもとで「復興」が進められていますが、このお母さんのように不満の声をあげている人がいます。「原発には建設の時からずっと反対してきたんだ」と力強く語る方もいます。福島の怒りは収束させられず、その怒りは間違いなく政府・東電に向けられています。この中で私たちの福島診療所建設基金カンパの訴えが多くの人々の注目が集めました。

全学連の仲間がマイクで訴えているとき、そこに山本太郎さんが合流。マイクを握り、「俳優の山本太郎です。福島の皆さん、原発事故は終わってませんよ。声上げていきましょう」と熱烈アピール。この日、山本太郎さんは自身の書籍を出版して、サイン会に来ていました。



現在、政府による再稼働と復興が進められています。事故収束による福島と全国との間の分断を許さず、福島から怒りを発していきます。全国の皆さん。3. 11へ共に闘いましょう。



脱原発の思いなどを語り合った集会

脱原発で全国
農民交流集会
二本松
「なくそう原発」と
めようITP/全国農
民交流集会は一日、
二本松市岳温泉のあ
たらふれあいセンタ
ーで開かれた。
実行委員会の主催で
県内外から約百人が参
加した。呼び掛け人の
計画的避難区域の飯
館村で酪農家の代表や
区長を務めた長谷川健
一さんが講演した。長
谷川さんは原発事故に
よる放射性物質の拡散
を速やかに公表しな
かった国の対応などを批
判。村内の十一戸の酪
農家が断腸の思いで休
業に追い込まれた話な
どを語った。

2月1日は「全国農民交流集会」が行われました。原発をなくすための農民の闘う団結が作られています。全学連福島現地行動隊も参加し、連帯の挨拶をしました。

(左の記事は2月5日福島民報より)